

● 2012年（平成24年）1～3月

1 社会・治安情勢

(1) 1月6日、国内各地で改革の実施や汚職の撲滅等を求め、抗議行動の開始の1周年を記念するデモが行われた。アンマンでは、数千人が参加した。

(2) 1月13日、シリア人数百人が、在ヨルダン・シリア大使館前においてアサド政権に対する抗議を行った。

(3) 2月24日、約2,000人の左派、イスラム主義者及び活動家が、政治改革を要求し、アンマンのダウンタウンを行進した。

(4) 3月6日、約200人のヨルダン人及びシリア人が、シリアのホムスにおける殺人に抗議するためアンマンのアブドゥーン・サークルから在ヨルダン・シリア大使館まで行進した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ヨルダン交通局によると、2010年の交通死亡事故数は670件であり、2009年の発生件数と比べると14パーセント増加した。ヨルダン国内では、4分毎に1件の交通事故が発生し、30分毎に1件の人身事故が発生、さらに、13時間毎に1件の死亡事故が発生している。

(2) 2月20日、アンマンの第7サークル近くのカソリン・スタンドにおいて、けん銃所持犯人と警察官による銃撃戦が起こり、犯人が射殺された。5名が被弾し、負傷した。

(3) 邦人被害事案

ア 2月16日午前1時頃、アンマンのシュメサーニ地区において信号待ちをしていた3人の在留邦人（女性）が乗車する車が、突然、年齢20歳前後、ニット帽を被り、体格細めのアラブ系男性に後部座席を開けられた。盗難や暴行などの被害はない。

運転していた女性によれば、当日、車のドアをロックせずに信号待ちをしていた際、急に男が後部座席のドアを開け、片手で後部座席のシートを探ったため、驚いた女性が悲鳴をあげたところ、男は逃走したとのこと。

イ 2月17日昼間、在留邦人（女性）が、アンマンからイルビッドへの長距離バスに乗り、終点のイルビッドでの降車時に鞆を置き忘れた。すぐに戻って車庫に入っていたバス車内を確認したが鞆はなかった。鞆の中に現金、携帯電話、在留許可証、家のカギなどが入っていた。

ウ 2月26日昼間、在留邦人（女性）が、マフラックの換金所で両替をした際、後に並んでいた女性3人組のうち一人に話しかけられ、そのすきに鞆から財布を盗まれた。鞆の中に現金、クレジットカードなどが入っていた。

エ 3月15日午前7時頃、在留邦人がアンマン市内のホテル前でタクシー降車後、右手にパソコンバッグ、左手に大きな荷物を持って、車が1台通れるくらいの狭い道を歩いていたところ、前方から来た車の助手席に座っていた男にパソコンバッグを奪われた。

3 テロ・爆弾事件発生状況
なし。

4 誘拐・脅迫事件発生情報
なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題
なし。

(了)